

## 夏の記憶を胸に

校長 高山直也

今年の夏は暑いこともさることながら、日本各地に低気圧がはびこり、北海道から九州にかけての広い地域に災害をもたらしました。6月に明けた梅雨は異常気象だったと総括されましたが、前線の停滞だけで大量の雨が何日も降り注ぐこと自体、気候変動が身近で起こっていることを感じた夏でした。

夏の全国高校野球大会、優勝旗が白河の関を越えた、と大々的なニュースになりました。優勝した仙台育英高校の監督のインタビューが心に刺さりました。「青春は密なんです。」そう、あの頃そうやって人間関係のイロハを体験していたことを思い出しました。スポ根世代の私は、指導者に叱咤され突き放され、這い上がることでスポーツを学びました。今は、ホームランを打って帰ってきたら、監督にハグされる時代。科学的な根拠に基づいて教えてくれる時代。新しいスポーツ指導のあり方を感じた夏でした。

そして、終業式に子供たちにも「今年の夏は特に気にしてほしい」とこととして挙げた、8月6日、9日、15日。今彼の地で起こっている、戦争という人権を踏みにじる行為は、たった77年前まで日本で当たり前前の光景だったという事実。この機会だからこそ子供たちに感じてほしいと願いました。練兵場や兵舎が近かった青山は、兵隊さんの命と無縁ではありませんでした。二度と帰れない燃料と爆弾を抱えて飛び立っていく青春。密な青春を経験することすらなく、散っていった命の何とはかないことか。今一度戦争の無残さ無意味さ、そして忍び寄るその影を感じた夏でした。



8月26日・27日に、5年生は1泊2日で箱根夏季学園に行きました。3年ぶりの5年生の宿泊です。天気にも恵まれ予定していたプログラムは全て行えました。めあては3つ、「責任」「協力」「感謝」です。初めての宿泊で不安もありましたが、5年生は素晴らしい活躍と成長を遂げました。まず、集団行動の基本である「協力」して「時間を守る」ことが完璧でした。それぞれの係・役割＝「責任」を全うしました。特に班長は、司会や代表の言葉、集合の点呼、夜の班長会での振り返りも含め、常に気を配っていました。さらに、学園を去る日の退園式、長年勤めた学園の施設長さんが8月でお辞めになると聞き、担任の粋な計らいで、子供たちからサプライズがありました。「今まで長い間、港区の子供たちのためにお世話してくださり、ありがとうございました！」「ありがとうございました！（全）」「私たちから感謝の気持ちを伝えます。」「長い間お疲れさまでした！」「お疲れさまでした！（全）」すると…登壇していただいた施設長さんの目から熱いものがあふれ、目頭を押さえばらく動けなくなりました。そして、「ありがとう…今までこんなに嬉しかったことはないよ。青山小のみんなの言葉で最後にとっても感動して終われて嬉しい。本当にありがとう…」と言葉をいただきました。「責任」・「協力」の達成はもちろん、「感謝」の気持ちを本気の言葉に乗せ、相手の心に刺さったこの経験こそ、5年生を大きく成長させた瞬間でした。青山小学校の子供たちの成長を感じた夏でした。



長い2学期が始まります。子供たちにとって嬉しいこと、悲しいこと、様々なことが待ち受けています。しかし、紆余曲折しながらも子供は成長していきます。悲しい出来事でさえ、周りの大人の導きで、次へのステップにつながります。無駄なことは何一つありません。毎日の地道な営みこそが、命に感謝しながら生きること自体が、すでに人間の成長につながっています。普通の毎日を過ごせない人がたくさんいた、いやたくさん「いる」ことを知った夏、しかし新しい時代を創る人間や成長する人間を知った夏。皆で命いっぱい生きる子供たちを支え、励まし、導いていきましょう。2学期もどうぞよろしく願いいたします。

## 夏季学園

8月26日、27日に、箱根にて1泊2日の宿泊学習に行ってきました。これまで、感染予防のために2年間、行うことができなかった行事です。日数を短くするなどの感染対策を行いながらの実施となりましたが、充実した2日間となりました。1日目は、十国峠でハイキングを行いながらアスレチックを楽しみ、宿舎ではクラブ活動を行いました。夜は、キャンプファイヤーで盛り上がりました。2日目は、宿舎での退園式の後、箱根園の水族館、お土産屋さん、森のふれあい館で活動しました。森のふれあい館では、オリジナルキーホルダー作りと、クイズラリーを楽しみました。今年の夏季学園のテーマは、「責任・協力・感謝」でした。一人一人が役割を担い、助け合いながら、お世話になった方々へ、しっかりと態度や挨拶で感謝を伝える姿が印象的でした。子供たちの成長をたくさん感じられる2日間となりました。

5年担任



## 養護教諭より

コロナ禍での健康診断も今年で三度目となりました。十分な感染対策を講じるため、以前とは健康診断の方法を変えています。子供たちも慣れてきたのか、スムーズに進めることができました。定期健康診断は6月末で終了しましたが、身体測定と視力検査は2学期にも行う予定です。お子様と一緒に1学期からの体の成長・変化をご確認いただければと思います。

現在、様々な制限が緩和されてきていますが、まだまだ感染者は多く、油断できない状況が続いています。2学期も感染症対策を続けながら、子供たちが元気に学校生活を送れるようにサポートしてまいります。

養護教諭



## 9月の行事予定

日	曜	主な行事予定
1	木	始業式 午前授業
2	金	学級活動 1・5年ダスキン出前授業 給食始
3	土	公開日 安全指導 3・4年SNS授業 保護者向け講演 あすなろ音楽を聴く会 保護者会
4	日	
5	月	全校朝会 委員会 計測始(～9日) 生活リズムチェックシート記入始
6	火	あすなろゼロプロ あいさつ運動(1・2班) 4年下水道出前授業 1年青山公園探検
7	水	午前授業 あいさつ運動(3・4班)
8	木	あいさつ運動(5・6班) ●
9	金	たてわり班 あいさつ運動(7・8班)
10	土	
11	日	
12	月	全校朝会 避難訓練 クラブ ○
13	火	読み聞かせ
14	水	あいさつ運動(9・10班)
15	木	6年星灯籠講話 ●
16	金	児童集会 6年移動教室前日健診 水泳指導終
17	土	
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	6年移動教室(～22日)
21	水	
22	木	●
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	
26	月	全校朝会 6年連合運動会朝練始(～29日) ○
27	火	あすなろ学級説明会
28	水	6年ラグビー体験
29	木	5年音楽鑑賞教室 ●
30	金	学級活動 午前授業

●○…スクールカウンセラー来校日

※予定は、変更になる場合があります。

### 今月の目標

生活目標 時間を守ってすごそう  
 保健目標 規則正しい生活をしよう  
 給食目標 食後は静かに休もう

## わたしたちの水を守り隊（4年）

地球は水の惑星と言われているように全体の71%が水で覆われています。では、私たちが使える水はどのくらいあるか知っていますか？

「わたしたちの水を守り隊！」と4年1組の子供たちに声をかけると可愛い効果音付きで決めポーズをしてくれます。昨年度から青山小学校では、SDGsに取り組んでいます。4年生は、社会の学習と結び付けて「水」というテーマに取り組んでいます。

最初の質問の答えですが、私たちが使うことができる水は、なんと0.01%しかありません。地球を直径1mの円と考えるとティースプーン約1杯分です。また、世界には水を汲むのに12時間以上かかる人々やきれいな水を使えない人々もいます。自分たちが当たり前のように使っている「水」の現状を知り、みんなに伝えたい！という思いをもったことがわたしたちの水を守り隊結成のきっかけです。

東京都水道局による水道キャラバン、サントリーによる水育授業などの出前授業。あきる野環境学習。様々な学びを通して、「自分たちにできることはなんだろう…」と考え続けてきました。節水や使った水の処理など自分たちにできることを考えました。7月14日には、全校児童に「水の大切さ」をテーマに発表しました。発表用スライドや発表原稿をグループで作成し、自分たちの思いを伝えました。

わたしたちの水を守り隊の取り組みは一区切りを迎えました。しかし、まだまだ水を守り隊の活動は続けていかなくてはなりません。ぜひご家庭でもお子様と話をしてみてください。自分たちにできることをしようと頑張る4年1組の子供たちを応援したり、一緒に取組んだりしていただくと幸いです。ぜひ、今日からわたしたちの水を守り隊の一員として活動していきませんか？



# 7月 青山小 生活の様子

## 道徳授業地区公開講座



## なつまつり (あすなろ)



## ののあおやま (2年生)



## みなと科学館 (4年生)



## 水泳学習



## ブラスバンド演奏発表

